

## 『ブレーカーコントロールシステム』の系列SSへの本格導入について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、サービスステーション(SS)の運営コスト削減に資することを目的に、100%出資子会社の株式会社JOMOエンタープライズ(本社:東京都千代田区永田町二丁目、社長:南園新造)を通じて、本年4月1日から、電気代節減に貢献する電子ブレーカーシステム『ブレーカーコントロールシステム』を系列SSへ本格的に導入してまいります。
2. 業務用の電力契約は、需要家の設備規模・用途に応じ送電電圧や契約種別が異なり、設備容量50kwを境に低圧受電と高圧受電に分類されます。一般的なSSにおいては低圧受電が主流であり、当該契約は、従量電灯C契約(看板や照明等の電源用)と低圧電力契約(計量機のポンプ、洗車機のモーター等の電源用)で構成されます。
3. 今回の「ブレーカーコントロールシステム」は、上記のうち、低圧電力契約の見直しを図り、電気料金の節減を実現するものです。低圧電力契約は、これまで業務用エアコンをはじめ各動力設備の電気容量に基づいて基本料金を決める「負荷設備契約方式」が一般的でした。この「ブレーカーコントロールシステム」は、ブレーカーに実際に流れる電流値を基に契約容量を算定する「主開閉器契約」において、起動電流の大きさに影響されず機器の定常運転時の電流値に基づいて契約容量を算定するため基本料金を下げることができるシステムです。つまり、本システムは、契約容量を使用電力量の実態に即して設定し直すことで電気料金の節減を図ることのできる画期的なシステムであります。
4. 当社では、2004年度に「ブレーカーコントロールシステム」の導入目標を1,000 SSと掲げ、さらなるSSの競争力強化に繋げたいと考えております。

以上